

令和5年 1月

## アグリジャンプ 2023年1月号記事の訂正とお詫び

アグリジャンプ 2023年1月号 7ページに掲載いたしました「高品質なニラ出荷に向け目ぞろえ会・JA うつのみやにら専門部」におきまして、目標販売額を誤って 24 億円と記載しておりましたが、正しくは 2.4 億円となります。

当該箇所を訂正させていただくとともに、ご迷惑をお掛けいたしました読者の皆さん、関係各位に深くお詫び申し上げます。

記

アグリジャンプ 2023年1月号 7ページ

「高品質なニラ出荷に向け目ぞろえ会・JA うつのみやにら専門部」

誤

販売金額 24 億円を目指します。

正

販売金額 2.4 億円を目指します。

## 令和5年 新年のあいさつ

**新**

年あけましておめでとうござい  
ます。皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げ  
ます。旧年中は組合員・利用者の皆さまには多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和4年は引き続き新型コロナウイルスが猛威を振るつたものの、感染対策は経済を優先し、警戒レベルは低位を維持しました。しかし、畜産物の消費・需要の回復は十分でなく、引き続き状況に応じた対応を進める必要があります。

## 不断の自己改革を実践

**宇都宮農業協同組合 代表理事組合長**

**横松 久夫**

J Aをめぐる  
状況は、金融事業、共済事業を中心に戦闘的状況が続いており  
ます。さらに「早

た生産に取り組み、主食用米の作付約480公頃の削減目標を設け、飼料用米などの生産拡大に取り組み、約655公頃の転換が進みました。この

の資金も用意しています。組合員の皆さまには、この状況を乗り越えて、営農を継続していただきたいと思います。

また、国においては水田利活用の5年間水張りルールや飼料米の専用品種支援などが議論されています。これらの件について、JAは全国のJAと共に要請大会や地元選出議員に度重なる要請活動を行いました。この度の国の整理では、水張りは、1ヵ月間の湛水と収量低下がないことが条件とされ、専用品種については、令和6年産から順次取り組んでいます。



いくこととされました。JAは内容を見極めしっかりと対応を進めます。

今年は「持続可能な農業・地域共生の未来づくり3か年計画」の第2年度を迎えます。引き続き不斷の自己改革を実践し「農業者の所得増大」

を目標に取り組みます。特にJA独自の支援事業として、親元独立経営支援事業や園芸施設導入支援事業など複数のメニューを設定し支援を行っており、令和3年度には約3千万円を支援しました。4年度も同程度の支援を予定しています。

JAをめぐる  
状況は、金融事業、共済事業を中心に戦闘的状況が続いており  
ます。さらに「早

期警戒制度」が令和4年度より導入され、これからJA経営は将来を見据えた健全経営が必須となります。その一環として、当JAは令和4年5月開催の第24回総代会において「營農経済事業改革」を承認いただきました。營農経済センターなどの集約を進めますが、専門的営農指導について充実させてまいりますので、引き続きのご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに、新しい年が良い年であることをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたし

代表理事組合長 横松 久夫

代表理事専務 佐藤 俊伸

代表理事常務 村山 克夫

見形 繁

中山 利久

増渕 昭雄

池田 久雄

鈴木 和弘

青柳 隆一

関根 信夫

城山 阿部 栄人

鈴木 明

福村 和夫

半田 光隆

山口 幸夫

今泉 弘

手塚 安則

福嶋 修

小田林徳次

矢口 正威

坂本 英希

藤沼 昭夫

猪瀬 尚孝

坂入 典文

稻葉 隆一

相良 律子

洋子

所 洋子

田野 茂

郷間 清博

國谷 修一

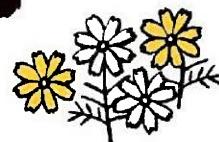
矢古宇 克

# の活動を紹介



## 女性大学

女性大学は、農業・生活・文化などの幅広い講座を通して、地域住民とのつながりを深めることを目的にしています。第9期の本年度は5月の入学式と1回目の講座から始まり、10月の3回目の講座と修了式で幕を閉じました。どの講座も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら実施しました。



# 特集



# 2022年度のJAくらし

## アグリスクール

**ア**グリスクールは、JAと地域のふれあいの場として、農業体験や自然学習などを通して食と農について学ぶ場です。本年度は「梨摘果・収穫体験」「田植え・田んぼの生き物調査・稲刈り体験」など4コースを用意。コロナウイルス感染症対策のために定員は各コース5家族限定で行いました。

7/9  
(土)  
トウモロコシ収穫体験  
宇都宮市下小倉町



7/18  
(月・祝)  
田んぼの生き物調査  
宇都宮市上久町



9/18  
(日)  
稲刈り体験  
宇都宮市上久町



10/22  
(土)  
梨収穫体験  
宇都宮市上籠谷町



11/3  
(木・祝)  
菌床椎茸の栽培方法と  
収穫体験  
宇都宮市下ヶ橋町



11/5  
(土)  
農産物集荷・選果施設見学 &  
農産物パッケージ体験  
宇都宮市田野町



11/23  
(水・祝)  
りんごの収穫体験  
宇都宮市上小池町



## 労務管理の重要性を確認 労務管理研修会

研修を受ける参加者



JAは10月16日に宇都宮市砂田町の南部営農経済センター、22日に宇都宮市白沢町の河内営農経済センターで労務管理研修会を開きました。

同研修会は、農業を経営する中で雇用を行う場合の注意点や労務関係の制度について改めて周知する場を作り、雇用トラブルの未然防止や疑問の解消につなげる目的。

16日の研修会では生産者やJA職員ら22人が参加。社会保険労務士法人FOLLOW代表の池田功さんが講師を務め、「農業における労務管理の重要性」を題材

に、労務関係の制度や法令、従業員を雇い入れた場合の労働保険など基本的な労務管理について講演しました。

またパートを雇用している生産者が現在の労務管理方法や今後の目標などについて説明しました。

研修会後には質疑応答の時間が設けられ、参加者は積極的に質問していました。

## バラ専門部品種検討会を開催

JAバラ専門部

JAバラ専門部は11月11日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場でバラ専門部品種検討会を開き、同専門部員や関係機関の担当者ら約15人が参加しました。

新型コロナウイルス感染拡大やウクライナ侵攻などの影響により、生産資材や燃油価格の高騰など厳しい状況が続いている。今回の検討会は、新型コロナウイルス感染拡大によりこれまでの専門部としての活動が制限される中で、品種検討を行い部会全体として品質の向上を図ることを目的に、今回初めて開催しました。

検討会では種苗会社のイノチオ精興園、国枝バラ園、京成バラ園の担当者がそれぞれバラの品種を紹介。実際のバラを用いながら、生産性や花もち、香りの強さ、耐病性など品種ごとの特性について紹介しました。参加者は熱心に話を聞き、情報交換を行いました。



今回初めて開催されたバラ品種検討会

## 地域農業の課題や対策を検討

JA地域農業振興検討会

あいさつする横松組合長



JAは10月下旬から11月中旬、支所、営農経済センター8会場で地域農業振興検討会を実施しました。同検討会は担い手との意見交換により、地域の課題について取り組むべき方向性を共有し、営農事業の取り組み強化につなげることが目的です。

宇都宮市砂田町の南部営農経済センターで11月11日に行われた検討会には、地元生産者やJAの横松久夫組合長ら約40人が出席。JAの担当者がJAの重点取組①多様な農業者による担い手の育成・確保②マーケットインに基づく販売強化③持続可能な農業・農村の振興と政策の確立④営農・経済事業体制強化などについて説明。また同センター管内における農業の現状について、農家数推移や農業生産拡大対策を示しました。

意見交換会では肥料価格高騰や販売価格低迷への対策についての意見が多く出され、地域農業への危機感が示されました。

## 加工用ブロッコリー出荷始まる 加工用ブロッコリー出荷目ぞろえ会

目ぞろえを行う参加者



**JA**は11月14日、下野市田中の南河内営農経済センターで加工用ブロッコリー出荷目ぞろえ会を開きました。生産者や関係機関の担当者ら12人が参加。JA全農とちぎの担当者が規格・出荷形態について説明しました。目ぞろえ会では担当者が現物を手に取り、花蕾（からい）の締まり具合や重さなどを確認。花蕾の大きさを15g、茎の長さを花蕾下から15cm程度とし、花蕾に水滴が多く付着している場合はよく水切りを行うことを求めました。

JAは加工用ブロッコリーの本格的な生産拡大を目指して3年目。JAの担当者は「十分品質を確認し、良い商品を出荷する中で価格の値上げを目指していきたい」と話しました。



## 加工用ニンジン出荷始まる 加工用ニンジン出荷目ぞろえ会

## 加工用ニンジン出荷目ぞろえ会



**JA**は11月21日、宇都宮市新里町の北部営農経済センターで加工用ニンジン出荷目ぞろえ会を開きました。生産者や関係機関の担当者など15人が参加しました。JAの担当者が加工業者であるカゴメとの取引内容を説明。出荷方法や集荷計画など、各生産者と確認しました。

目ぞろえ会では、カゴメの担当者が二股や実割れのニンジンをナイフでそいで実演。出荷合格品は「会社指定および認定品種で品質・形状・色沢が優良であること」「肩部がカットされ、根重1本当たりが90g以上の中のもの」などとしました。また、異物の混入などに注意し、規格内のニンジンを出荷するよう協力を求めました。

JAの担当者は「農作業中の事故やけがに注意し、規格を順守して作業してほしい」と話しました。

今シーズンの出荷量は約250tを見込んでいます。



目ぞろえを行う参加者

## 高品質なニラ出荷に向け目ぞろえ会

JAにら専門部



目ぞろえを行う参加者



**JA**にら専門部は11月21日、上三川町大字上三川の上三川営農経済センターでニラ専門部販売対策会議・出荷目ぞろえ会を開き、同専門部員や関係機関の担当者ら約70人が参加しました。

販売対策会議では23年産の販売方針について協議し、契約販売の取組拡大や量販店の売り場確保に努めていくことを決定しました。また品質維持対策として定期的に目ぞろえ会を開催し、栽培管理の徹底による品質向上、産地ブランド向上を図っていくことを確認しました。目ぞろえ会では市場担当者がニラの出荷規格や脱気方法を説明しました。同専門部の土尻俊雄専門部長は

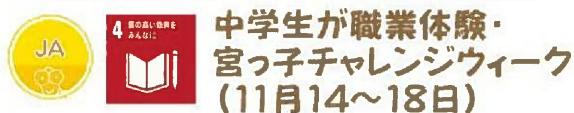
「脱気はしっかり空気を抜くようにしてほしい。また、ニラを折らないよう注意をお願いします」と話しました。

同専門部の部員は108人で、今年産は目標数量320t、販売金額24億円を目指します。



## 「みんなのよい食プロジェクト2022」PR (10月18日)

JAグリーンインターパークとJAグリーンかみかわちで、「3食ごはんの日」を推奨するため、みやおとめ真空パック米(300グラム)とチラシを配布しました。



## 中学生が職業体験・ 宮っ子チャレンジウィーク (11月14～18日)

宇都宮市立豊郷中学校の社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」が実施され、同校2年生の石渡朝陽さんが参加。東部管農経済センター管内で、コメの仕分けやソバの搬入・検査などを行いました。

調理する田村支部長(右)と会員



机に並ぶ  
今回のメニュー5品



## 旬の野菜を取り入れた あたたかい料理を(11月28日)

みどり会中央支部は、宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。田村孝子支部長は「寒いのであたたかい煮込み料理にし、旬の野菜を取り入れるようにしました」と話しました。



管内農産物をPRしたJAうつのみやフェア



## JAうつのみやフェアで 管内農産物をPR (11月26日、27日、12月3日、4日)

JAは11月26日、27日にアピタ宇都宮店、12月3日、4日にFKD2店舗でトマト、アスパラガス、ニラなど管内産農産物を特別ブースで販売しました。

組合員の皆さんからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。  
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

# 管内インフォメーション

## 消毒液を寄贈 宇都宮市の中学校に



宇都宮市役所で行われた贈呈式  
左から 小堀教育長、横松組合長、綱川副本部長



うつのみやとJA共済連栃木は11月10日、中学校の新型コロナウイルスの感染防止対策に役立ててもらうため、宇都宮市教育委員会に消毒液を寄贈しました。

贈呈式には、同JAの横松久夫組合長や同共済連の綱川浩行副本部長らが出席。同市内の市立中学校25校に消毒液2本(1本5㍑入り)を贈りました。横松組合長は「県内で現在多くの方が新型コロナウイルス感染症にかかっている。引き続き健康で安全に学校生活を送れるように、消毒液を有効活用してほしい」とあいさつしました。

目録を受け取った小堀茂雄教育長は「消毒液をはじめとするさまざまなコロナ対策は、これからも必要になる。各学校で消毒液を有効に活用しながら、感染拡大防止に努めていきたい」と話しました。



## 豊作と地区の発展を祈願 日光東照宮神田抜穂祭

日 光東照宮神田抜穂祭が11月14日、宇都宮市篠井町で開かれ、日光東照宮関係者、同地区の生産者、JAの職員ら12人が参加しました。

篠井地区では毎年1人の奉耕者を選出し、日光東照宮に神田を奉耕しています。今年は篠井町の齋藤勝廣さん(68)が奉耕者となり、6月に行われた日光東照宮神田植祭で10㌃の水田を神田として奉耕しました。抜穂祭は齋藤さん宅で行われ、稻穂を2俵、もみ殻付き米を25キロの米袋20袋を収穫しました。齋藤さんは「台風の被害もなく、おだやかな年で良かった。無事終えられたのは皆さんのおかげです」と語りました。

奉納された米は来年3月に行われる献穀講大祭に用いられる予定です。



玉串を奉納する齋藤さん

## 婚姻届提出の夫婦にうつのみや産のバラ贈る いい夫婦の日



ユリとバラに彩られたフォトスポット



バラ専門部が提供したバラ



都宮市地産地消推進会議は、11月22日の「いい夫婦の日」に宇都宮市役所で婚姻届を提出したカップルに、バラの花を贈りました。

花はJAバラ専門部が提供。新型コロナウイルス禍で需要が減ったバラの消費を喚起し、婚姻届を提出したカップルを祝福するために企画しました。今年で3年目となります。また、同推進会議が提供した花とJA球根切花専門部が提供したユリで、市役所内のフォトスポットを彩りました。

バラを贈られた夫妻は「いい夫婦の日を選んで婚姻届を提出しに来た。お互いに足りないところを補い、支えあっていきたい」と話しました。

### 令和4年産米の概要

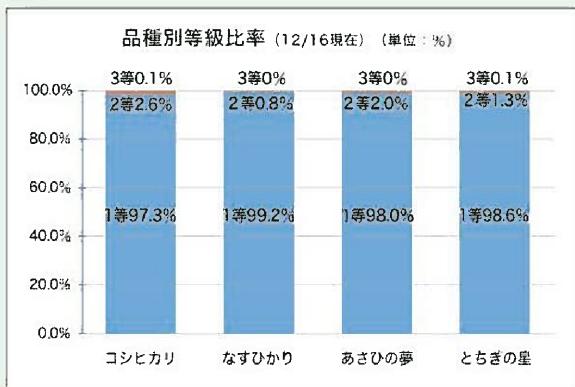
4年産は6月上旬の気温が低く、日照時間も少なかったことから生育が平年よりもやや下回る状況でしたが、梅雨時期の気温が平年よりも高く、日照時間が多かったので、7月下旬の生育は平年並みとなりました。

出穂は昨年と同時期の7月25日でした。8月中旬以降の曇天による収穫期間の日照不足などが影響し、収量は526kg／10ha（作況96）となりました。品質については、9月下旬の台風の影響による刈遅れなどがあり、胴割粒の発生が増加しましたが、カメムシによる被害は減少しました。

栃木県の10aあたり収量および作況指数（10月25日現在）

	収 穫	作況指数
栃木県	532kg	97
県北	551kg	96
県央	526kg	96
県南	506kg	100

表1



### 令和4年産米の等級

4年産コシヒカリの12月16日現在の1

等比率は97・3%、2等は2・6%、3等は0・1%でした（表1）。2等以下の格付け理由は胴割粒が39・7%と最も多く、次いでカメムシが22・4%でした

（表2）。

カメムシの被害は昨年と同様に減少傾向ですが、増加する可能性も考えられるので、今後も適期防除を実施しましょう。胴割粒の発生は出穂後の高温などの気候的要因もありますが、刈遅れや高温での乾燥、過度な畠摺り圧なども要因となりますので、注意が必要です。

麦踏みは地上部の過剰生育を抑制しながら分けつを旺盛にし、根張りを深くするとともに茎葉汁液濃度を高め、耐寒性を増大させる効果があります。

年末に1～2回、1月以降は茎立期（3月上旬）直前までに2回程度実施しましょう。



### 麦踏み

麦踏みは地上部の過剰生育を抑制しながら分けつを旺盛にし、根張りを深くす

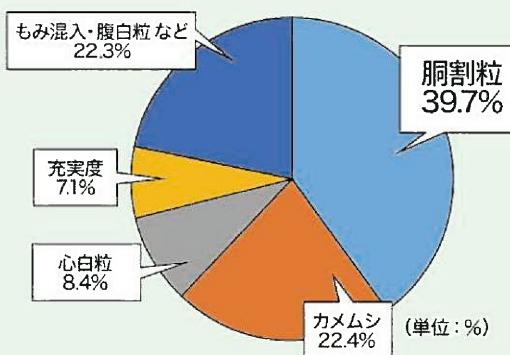
### 排水対策の実施

麦はすべての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近は地球温暖化の影響で、雨が一回に激しく降る傾向が強く、降雨日の降水量が多くなっています。

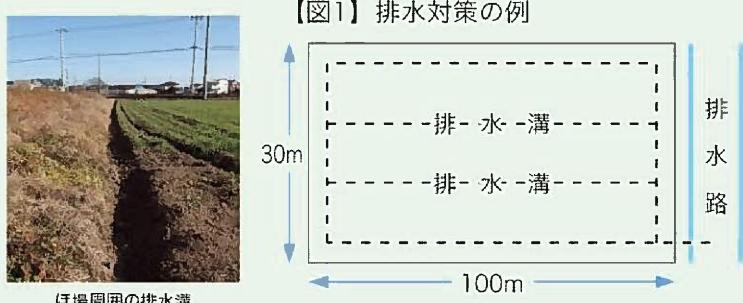
排水対策が未実施のほ場については、ほ場への排水溝の設置などをできるだけ早期に行いましょう（図1）。また、設置済みのほ場については、定期的な点検を行いましょう。

なお、麦踏みは降雨（雪）後では場が湿っている時や、凍結層がある時は行わず、ほ場が乾いた状態の時に実施しましょう。

表2 2等以下格付け理由



【図1】排水対策の例



ほ場周囲の排水溝

## みどり会中央支部活動について

**み**どり会中央支部では11月に寄せ植え教室と手芸教室を実施いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、思うような活動が行えていませんでしたが、久しぶりの行事で会話も弾み、楽しい時間過ごすことができました。

教室で作った寄せ植えの草花やブーケはどれも健気で美しく、見ているだけで励されます。作成中も、みんなで集まれたことに感謝し、それだけで「何だかホッとするね」とみどり会の良さを実感する会話が飛び交いました。

1日も早くコロナ禍が終息し、楽しい活動を自由に、みんなで行えることを願いながら、次回の活動に思いを馳せました。



寄せ植え教室に参加した会員たち



女性組織から

Newsletter

ニュースレター



寄せ植え教室で作ったブーケ



11月に実施した寄せ植え教室

## みどり会豊郷支部活動について



どり会豊郷支部では、今年度、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、活動を大幅に増やすことができました。隔月で実施した手芸教室ではマスクケースや手提げ袋などを作製。健康体操についても、講師のご指導のもと5回開催することができました。その他、寄せ植え教室・地域行事・地域貢献・国体関連の活動など、さまざまな活動をみんなで楽しく実施しました。

今年度はさらに充実した活動を目指すとともに、昨年中止となった支部旅行を会員みんなで楽しめたらと思っております。



健康体操の様子



手芸教室に参加した会員たち



寄せ植え教室に参加した会員たち

# ワンプレートレシピ One plate recipe

## 里芋まんじゅう



### 材料(6個分)

サトイモ	300g
片栗粉	大さじ1
塩	1つまみ
ハナビラタケ	30g
キノコあんかけ	30g
生キクラゲ	30g
かつおだし	200ml
薄口しょうゆ	20ml
みりん	20ml
水溶き片栗粉	適宜
大根おろし	適宜
ミツバ	適宜
すりユズ	適宜
揚げ油(サラダ油)	適宜

### 作り方

- ①ハナビラタケは細かくほぐし、生キクラゲは細切りにする。
- ②サトイモは皮をむき、蒸し器(またはレンジでも可)で柔らかくなるまで火を通し、熱いうちにボウルに入れよくつぶし、塩、片栗粉を入れよく混ぜ合わせまんじゅうにする。
- ③揚げ油を170度に熱し②のまんじゅうを色良く揚げる。
- ④キノコあんかけの材料を鍋に入れ沸かし、水溶き片栗粉でとろみを付ける。
- ⑤③で揚がったまんじゅうをおわんに盛り、④を回しかけ、大根おろし、ミツバ、すりユズをのせ出来上がり。

茨城県笠間市にある  
天晴(旧キッチン晴人)  
オーナーシェフ

ながい たもかず  
永井 智一



## シェフ永井のおすすめ



### 今月の直売所情報

旬のおいしいイチゴはJA直売店で!

地方発送承り中!

対象店舗: JAグリーンインターパーク・JAグリーンかみかわち・南河内グリーンセンター

特売 南河内  
グリーンセンター  
第3金土日曜は  
特売デー

### お米の特売日

JAグリーンインターパーク  
直売所 毎月第3日曜日(1/15)

JAうつのみや お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)  
をお買い得価格にて販売します!!

& JAグリーンかみかわち  
直売所 每月8の付く日(1/8, 18, 28)

南河内グリーンセンター  
生産者さん募集中!!

北側ガラス温室テナントも同時募集中  
詳しくは南河内農業経済センター  
TEL: 0285-48-2215  
農業課 森田・上野まで

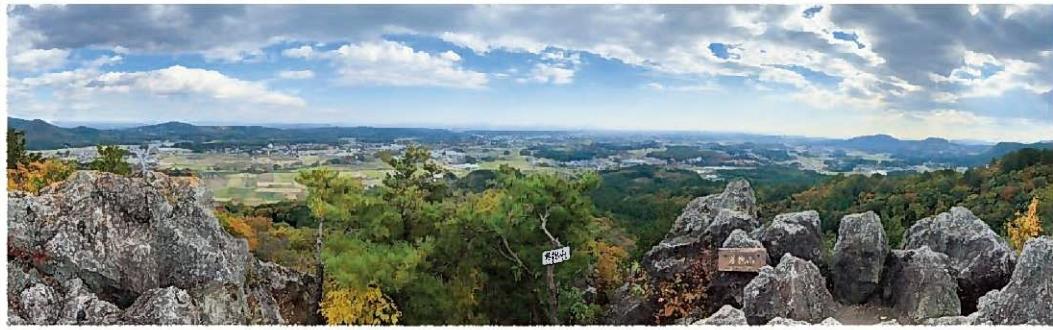
# 北部宮農 経済センター

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



## おただきやま 男抱山・富士山縦走



男抱山からのパノラマ風景

北部宮農経済センターの北に位置する男抱山・富士山は、登山口から3分ほど歩くと右回り、左回り、中央の3コースの案内標識があります。今回は右回りで男抱山、それから富士山に登るコースを紹介します。

案内標識を右に行くとすぐにややきつい登坂が現れ、20分ほど登るとなだらかな稜線に出ます。そのまま進むと右手に岩があり、その上に小さなお宮があります。さらに進むと前方に巨大な岩群が現れ、その岩を登ると男抱山の頂上に着きます。市内を一望できる素晴らしい眺望です。

岩の北面を降り、登山道を西に8分ほど進むと、岩群が現れます。そこが富士山頂上で、ここからも絶景が見られます。そこから南側の比較的なだらかな登山道を下ると2カ所の展望岩があり、そこからも景色が見られます。今回は約1時間の所要時間でした。皆さん、ぜひ登って素晴らしい景色を見てください。登る際には登山靴や装備を忘れずに。

## 春肥・農薬

肥料をめぐる情勢が厳しくなっている昨今、春用肥料・農薬のお申し込みはお済みでしょうか。2022年度は肥料高騰対策事業があり、化学肥料低減計画をしていただくと前年度から増加した肥料費について7割を支援金として交付受けることができます。対象品目のひとつに春用肥料があります。この機会にぜひJAうつのみやの春用肥料の予約注文をお願いいたします。また、併せて春用農薬のご予約もお待ちしております。



肥料・農薬

各種お問い合わせはこちらへ

### 支所・センター電話番号

中央支 所 028-633-3467	南河内支所 0285-48-2211
宝木出張所 028-622-6111	上三川支所 0285-55-1510
平石支 所 028-661-4311	宇都宮北部宮農経済センター 028-665-0550
南部支 所 028-656-1020	宇都宮西部宮農経済センター 028-658-6565
城山支 所 028-652-0711	宇都宮南部宮農経済センター 028-656-8484
北部支 所 028-665-0003	宇都宮東部宮農経済センター 028-660-3535
豊郷支 所 028-624-8011	上河内宮農経済センター 028-674-2164
清原支 所 028-667-0151	河内宮農経済センター 028-673-6911
姿川支 所 028-658-6881	南河内宮農経済センター 0285-48-2215
上河内支所 028-674-3333	上三川宮農経済センター 0285-55-1511
河 内 支 所 028-673-3135	住宅ローンセンター 028-622-7100

■ キャッシュカードの紛失・盗難  
フリーダイヤル 0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)  
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)

アトラス宇都宮ホール 028-660-5555  
アトラスアミリーホール鶴田 028-633-9200  
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達  
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)  
※緊急連絡先 028-633-0085